

校長挨拶

岩手県立久慈拓陽支援学校は、昭和54年に久慈養護学校として開校し、平成21年に現在の校名に変更しました。昨年度は創立40周年を迎えています。



「拓」は、開拓の精神が息づいている侍浜地域に学校があり、北の厳しさや、やませにも負けず、輝く人生を拓いていってほしいとの願いを表しています。

また、「陽」は、暖かさがあり、明るさと希望を象徴しています。開校当時は高等部がありませんでしたが、平成元年に高等部が設置され、今年度は小学部27名、中学部11名、高等部42名、合計80名の児童生徒が在籍しています。また、寄宿舎では通学困難な遠方の寄宿舎生24名が生活しています。

「侍浜は霧深く野山をつつみ海つつみ」

校歌にあるように、この地区には冷害の原因となった「やませ」が吹き、冬になると太平洋沿岸とは思えないほど雪が降りました。

しかし、温暖化が進む現在は、むしろ夏は快適で過ごしやすく、冬は校舎に隣接する牧野でスキーやそり遊びができる素晴らしい環境に恵まれています。



本校では、教育目標にあるように、「児童生徒の障がいの状態や特性に応じた教育実践を通して、一人一人の可能性を最大限に伸ばし、健康で明るくたくましく生きる人間を育成する」ことを目指しています。地域や自然環境だけでなく、学校を取り巻くすべての状況をプラスにとらえて進んでいこうと思います。

全職員が「チーム拓陽」として一丸となって、この目標の実現に取り組んで参りますので、どうぞよろしく申し上げます。



令和元年5月
校長 工藤弘毅